

(参考様式5)

平成22年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	日光市(今市市)	檜蔭地区	H17～H21	H17～H19
		杉の沢地区	H17～H21	H18～H19
		矢野口地区	H17～H21	H17
		大室地区	H17～H21	H17～H18
		小代地区	H17～H21	H17
		明神地区	H17～H21	H19
		大桑地区	H17～H21	H18～H21
		小倉地区	H17～H21	H17
		長畑地区	H17	H17

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

①小倉地区

ア 施策の内容：農地利用集積の推進（土地利用調整支援）

イ 施策の実績

(コメント)

担い手への農地利用集積の推進活動をおこなった。

ウ 施策の効果

(コメント)

各種説明会を開催することにより、意識の向上が図られた。

②長畑地区

ア 施策の内容：遊休農地の解消（遊休農地再生活動実践スタート支援）

イ 施策の実績

(コメント)

遊休農地を調査し、既存の地図情報に遊休農地の位置情報をリンクさせた。  
また、長畑地区における実態調査を実施し、遊休農地活用方法の検討を行った。

ウ 施策の効果

(コメント)  
遊休農地の分布や位置が把握しやすくなり、解消に向けた取組みが推進できた。

(2) ハード

① 檜原地区

ア 施策の内容：農業用排水施設整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用排水施設	日光市(今市市)	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=1,154m	平成17年度	平成19年度	平成20年3月12日	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
農業用排水施設等の機能の確保	ha	13	13	13	100	
環境保全水路の整備	%	100 ( - )	100	100	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 水路が整備されたことにより、効率的な農業生産の基盤が確立し、土地利用型作物である、麦・大豆をはじめ野菜類の導入により生産性の向上が図られ、投資効果が発揮された。

② 杉の沢地区

ア 施策の内容：農業用排水施設整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用排水施設	日光市(今市市)	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=644m	平成18年度	平成19年度	平成20年3月10日	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
農業用排水施設等の機能の確保	ha	36.7	36.7	36.7	100	
環境保全水路の整備	%	100 ( - )	100	100	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 水路が整備されたことにより、効率的な農業生産の基盤が確立し、土地利用型作物である、麦・大豆をはじめ野菜類の導入により生産性の向上が図られ、投資効果が発揮された。

③矢野口地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	地形図	日光市(今市市)	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
105ha	平成17年度	平成17年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (17年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
地形図作成	ha	105	105	105	100	

ウ 施策の効果

(コメント)  
基盤整備事業の換地及び計画策定の基本となる地形図が完成し、調査計画業務の着手に至った。

④大室地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
110ha	平成17年度	平成21年度		

事項	単位	計画時 (16年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
経営体育成促進換地等調整	年	—	2	6	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 基盤整備事業の準備が円滑に進み、事業に着手できた。

## ⑤小代地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(7) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
6.2ha	平成17年度	平成17年度		

事項	単位	計画時 (16年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
経営体育成促進換地等調整	年	—	1	2	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 基盤整備事業の準備が円滑に進み、事業に着手できた。

## ⑥明神地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(7) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
7.3ha	平成19年度	平成19年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
経営体育成促進換地等調整	年	—	1	3	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 基盤整備事業の準備が円滑に進み、事業に着手できた。

## ⑦大桑地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(7) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農業用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	日光市(今市市)
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
60ha	平成17年度	平成21年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
経営体育成促進換地等調整	年	—	2	5	100	

ウ 施策の効果

(コメント) 基盤整備事業の準備が円滑に進み、事業に着手できた。

## 2 指標の達成状況に関する評価

### ①檜原地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積	—	13ha	13ha	13ha	13ha	100.00%
地域	環境保全水路の整備	—	100%	100%	100%	100%	100.00%

農業用排水施設等の確保・保全により条件が整備され機能が確保された農地の面積が増加した。

## ②杉の沢地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積	—	36.7ha	36.7ha	36.7ha	36.7ha	100.00%
地域	環境保全水路の整備	—	100%	100%	100%	100%	100.00%

農業用排水施設等の確保・保全により条件が整備され機能が確保された農地の面積が増加した。

## ③矢野口地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	基盤整備事業の着手までの年数	—	3年	3年	0年	0年	0.00%
地域							

地形図作成は完了したが、当該地区内に分筆線が記されていない公図混乱箇所が判明し、処理に期間を要したため、基盤整備事業着手が先送りになった。

平成22年度には、調査計画業務が着手となり、平成24年度基盤整備事業着手に向け準備を進めている。

## ④大室地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	基盤整備事業の着手までの年数	—	2年	2年	6年	4年	100.00%
地域							

農用地の利用状況や農家の意向を調査し、平成22年度圃場整備事業に着手できた。

⑤小代地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	基盤整備事業の 着手までの年数	—	1年	1年	2年	1年	100.00%
地域							

農用地の利用状況や農家の意向を調査し、平成18年度圃場整備事業に着手できた。

⑥明神地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	基盤整備事業の 着手までの年数	—	1年	1年	3年	2年	100.00%
地域							

農用地の利用状況や農家の意向を調査し、平成20年度圃場整備事業に着手できた。

⑦大桑地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	基盤整備事業の 着手までの年数	—	2年	2年	5年	3年	100.00%
地域							

農用地の利用状況や農家の意向を調査し、平成22年度圃場整備事業に着手できた。

⑧小倉地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (21年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	担い手への農地 利用集積率	16.6%	30.5%	13.9%	25.7%	9.1%	65.47%
地域							

各種説明会を開催することにより農地利用集積の意識が向上し、集積率の向上が図られたが、圃場整備事業の工期が平成24年度に延長となり、担い手への農地利用集積目標達成が平成24年度となった。

⑨長畑地区

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (17年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (17年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必須	遊休農地解消等 の面積	—	91.9ha	91.9ha	91.9ha	91.9ha	100.00%
地域							

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

用排水施設工事の実施により、農業生産性の向上及び維持管理費の節減が図れた。また、地形図作成及び農用地集団化事業では、農用地の利用状況や農家の意向を調査し、円滑な事業の執行に着手することが出来た。

遊休農地解消事業では、遊休農地解消に向けた土地利用が推進され、特産作物の作付拡大等がなされ、地区の活性化が図られた。

矢野口地区においては、基盤整備事業の着手が見送りとなったが、平成24年度事業着手に向け作業を進めている。

小倉地区においては、圃場整備事業期間の延長に併せ農地利用集積目標達成が見送りとなったが、平成24年度達成に向け集積を進めている。



#### 4 総合評価

(コメント)

本計画において、指標に対する目標値は、ほぼ達成することができた。

かんがい排水工事においては、更なる生産性の向上及び維持管理費の節減を目指し、農用地等集団化事業では圃場整備事業に向け準備が整ったので、今後推進をしていく。

農地利用集積事業では、圃場整備事業の進捗に併せ、集積率が向上しているため、引き続き推進していく。

遊休農地解消事業では、遊休農地解消が推進され、特産物の作付が拡大し地区の活性化が図られたため、今後も取組みを推進していく。

(都道府県の意見)

ほとんどの地区が、目標を達成したことにより高生産性を支える農業基盤の整備及び活力ある担い手の育成をより一層推進していく。

なお、未達成の矢野口地区においては、基盤整備事業の着手が見送りとなったが、平成24年度事業着手に向け推進していく。

小倉地区は、農地利用集積が年々向上しており、平成24年度集積目標達成に向け推進していく。